

第6回史跡めぐり

令和四年十二月八日

『宗祇終焉の地箱根湯本、 旧東海道と美術館を訪ねる』

今回の史跡めぐりは、令和元年に訪れた宗祇の弟子、宗長の草庵、吐月峰柴屋寺（静岡市丸子）に続く「宗祇ゆかりの地」を訪ねるバス旅行、第二弾となりました。

訪問先の一つ、箱根湯本早雲寺は、臨済宗京都大徳寺派の寺院で、寺内には

後北条氏五代の墓や、今回目的としている連歌師飯尾宗祇の供養塔や句碑が建立されています。

宗祇は文亀二年（一五〇二）、越後国を離れ弟子の宗長らと江戸から東海道を下り鎌倉、小田原を越え、美濃国を目指して旅を続けていました。ところが途中一番の難所とも言える箱根に入った所で「寸白（虫起こり）」が悪化し、七月三十日、八十二歳にて弟子に見守られながら息を引き取りました。その地が湯本であると伝えられています。その後、宗長らの手によって富士の見える駿河国桃園定輪寺に埋葬された「宗祇終焉記」



に記されています。

また湯本には歴史的な遺物が多く、鎌倉時代建久四（一九三）年、富士裾野で父の仇である工藤祐経を討った曾我兄弟を弔う曾我堂や地藏信仰を示す「地藏坐像」を守る正眼寺をはじめ、旧街道としての東海道の面影を感じさせる道祖神等の石造物が保存され、当時の歴史を偲びました。

宗祇が没してより、二〇二二年は五二〇年のときを経過していますが、会員ら

二〇人の皆様が史跡めぐりに参加され、正眼寺、早雲寺をはじめ箱根宿の歴史を紹介している箱根町立郷土資料館、関所趾、また、折よく紅葉の盛りを迎えた箱根美術館の美しい庭園や日本古陶磁器の充実した展示などを楽しみました。

昼食では珍しい絹引き麺を堪能するなど、互いに親睦を深める良い機会となりました。



お知らせ

総会のご案内

◎日時／4月16日(日) 午後1:30より

◎場所／東西公民館3階 会議室1、2

*コロナ禍のため中止の場合はご連絡します。

会員募集中

裾野市宗祇法師の会ではともに活動して下さる方、または会員として後方から支えて下さる方を募集しています。

※お知り合いなどご紹介ください。

詳しくは [裾野市宗祇法師の会](#) [検索](#)

または、お電話で 090-4851-1804(勝又まで)

予告

講演会のお知らせ

◎日時／4月16日(日) 午後2:00頃（総会終了後）

◎場所／裾野市東西公民館3階 会議室1、2

◎講師／佐藤 孝子氏

（元ボイスキューパーソナリティー）、
（三島市、裾野市の文化財保護審議委員）

◎演題／未定（見識の深い講師による幅広いお話が伺えます。）

